

地球観測に関する政府間会合（GEO）の 概要と動向について

文部科学省 研究開発局
環境エネルギー課

GEO (Group on Earth Observations) の概要



文部科学省

GEOとは

- 地球観測の国際連携による課題解決を目指す国際的な政府間パートナーシップ。全球地球観測システム（GEOSS）の構築と、これを推進するための国際的な枠組みとして2005年に設立（参加国からの拠出金により運営）。
- SDGs、気候変動、防災・減災及び都市の強靱化の4つを優先連携分野として位置づけ、GEOSSやワークプログラムなどを通してグローバル課題の解決に貢献。
- 2023年11月に開催された第19回GEO本会合（南アフリカ）において2026年以降のGEO戦略（Post-2025 Strategy）が採択。本戦略では、地球観測データやそれを活用するエンドユーザのニーズを見据えた「**地球インテリジェンスの創出**」を中核に位置付けている。
※地球インテリジェンス：地球観測データをはじめとする多様なデータを統合し、それをモデルや予測、シナリオ分析等と組み合わせたもの。課題解決に向けた政策判断や行動に必要な知識や洞察を提供する。

GEOのビジョン、ミッション

『GEO戦略計画2016-2025: GEOSSの実施※』

ビジョン：人類の利益のための意思決定や行動が、調整された、包括的かつ持続的な地球観測及び情報に基づいて行われる将来を実現する。

ミッション：ビジョンを実現するため、GEOSSを構築し、地球観測データ及び情報の需要と供給を結びつける。

※現在はGEOの第2期にあたる。（第1期は2005-2015年の「GEOSS10年実施計画」）

GEOSS

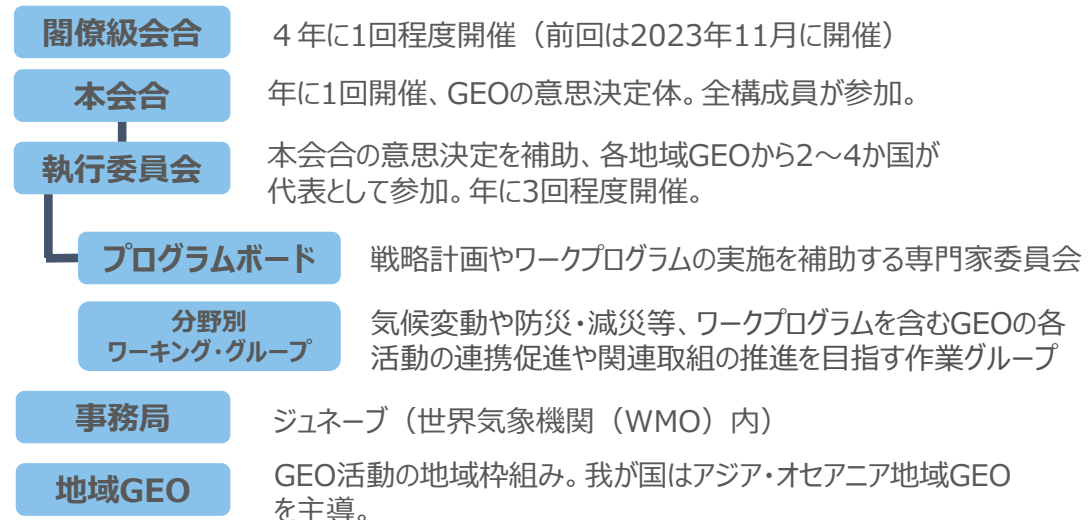
各国の複数の観測システム（衛星・現場観測）からなる地球観測のシステム。気候変動等のグローバル課題への貢献を目指し、各国の地球観測データ等を官民を含む広範囲のユーザに対して提供するポータルサイト『GEOSS Portal』を運用。

ワークプログラム

- GEOの計画・活動の主要な手段。地球観測を用いた課題解決等のための具体的な活動やプロジェクト。
- およそ3年毎に見直しが行われる。現在は2023-2025年のワークプログラムを履行中。



ガバナンス構造



参加国
117か国
（ECを含む）

参加機関
157機関

（令和7年9月時点）



GEOと地球観測推進部会の関係性

第1期GEO（2005-2015）に関する動き

第2期GEO（2016-2025）に関する動き

第3期GEO（2026-2035）に関する動き

GEO

日本国内の動き

G8エビアン・サミット

2003年
6月
| 全球的な地球観測の重要性が確認され、日本の提案により、10年実施計画の策定を行う閣僚級会合の2004年東京開催が合意。

第2回地球観測サミット

2004年
4月
| 全球地球観測システム（GEOSS）の範囲等を示した枠組文書が採択。

第3回地球観測サミット

2005年
2月
| 第1期GEOの「**GEOSS10年実施計画**」の採択及び**GEOの設立**が承認。

GEO閣僚級会合/第12回本会合（メキシコシティ）

2015年
11月
| 第2期GEOの「**GEO戦略計画2016-2025**」が承認。

GEO閣僚級会合/第19回本会合（ケープタウン）

2023年
11月
| 第3期GEOの「**2026年以降のGEO戦略**」が採択。

「地球観測の推進戦略」（総合科学技術会議）

2004年
12月
| 地球観測に関する国際的な取組の中での我が国の貢献のあり方を明確にし、国際的な対応を戦略的に進めるための基本方針と推進戦略を示す。

「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」

（地球観測推進部会）

2015年
8月
| 地球観測を取り巻く国内外の動向を踏まえ、10年程度を目途とした我が国における地球観測の取組にあたっての基本的な考え方について取りまとめ。

第2期 「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」

（地球観測推進部会）

2025年
1月
| 「地球インテリジェンスの創出」をテーマに、10年程度先を見据えた、我が国における地球観測の推進やその成果の利活用等に向けた基本的な方針を策定。

GEOのビジョン・ミッション：

Vision：信頼性の高い**地球インテリジェンス**が普及し、**社会の持続可能な未来が実現される世界**を目指す。

Mission：GEOは政府間会合としての特色を生かして**地球規模の社会・環境的課題に対する意思決定に貢献し**
その行動を加速させる**ユーザ目線の地球インテリジェンスを創出**する。

地球インテリジェンス：

地球インテリジェンスとは
地球観測データをはじめとする
多様なデータを統合し、
それをモデルや予測、シナリオ分
析等と組み合わせたもの。
課題解決に向けた**政策判断や
行動に必要な知識や洞察を
提供する。**

地球観測による社会的便益の実現のため、以下の取組を行う。

1. 地球観測における**国際的な公平性を追求**し、様々なニーズが存在するコミュニティに対し、平等にリソースや機会を提供する。
2. 地球観測データだけでなく、「**地球インテリジェンス**」を提供する。

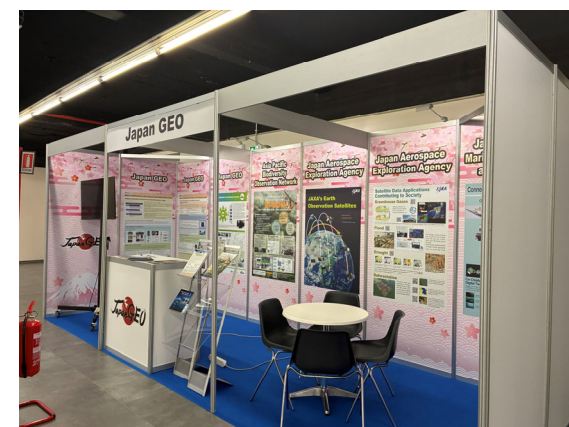


地球観測データの利活用を重視

GEO 本会合等（GEO Global Forum 2025）の概要

GEO Global Forum 2025 開催概要

- 日程：5月5日（月）～9日（金）
- 場所：イタリア ローマ
- テーマ：地球対話「The Earth Talks」
- 参加国・参加者数：約100の国・国際機関から700名以上
- 主な結果：
 - 第20回GEO本会合にて、2026年以降のGEOワークプログラムが採択されたほか、2026年以降のGEO戦略実施計画が紹介された。
 - 「防災のための地球インテリジェンス」をテーマとしたラウンドテーブルでは、日本より清浦審議官が登壇し、「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」や国内における衛星データの防災活用、海外における洪水早期警報システムの構築や能力開発の取組を説明した。
 - 第66回執行委員会にて、日本の民間企業として初めて、アクセルスペースがGEOアソシエイトとして参加することが承認された。
 - 日本の地球観測や地球インテリジェンスの創出に向けた取組を紹介するブースの出展を行い、「GOSATシリーズ衛星による温室効果ガス観測の成果と将来の計画」や「DIASを活用した「知の統合オンラインシステム」の取組」について、ショートレクチャーを実施した。
 - 地域GEOの共同セッション（サイドイベント）に、日本より、原田技術参与（JAXA）がアジア・オセアニア地域GEO（AOGEO）調整委員会共同議長として登壇し、AOGEOの活動について発表を行った。



第17回アジア・オセアニア地域GEO（AOGEO）シンポジウムの開催について

開催概要

- 日程：令和7年10月15日（水）～17日（金）
- 場所：タイ バンコク（対面及び一部のセッションはストリーミング配信を予定）
- 主催：GEO事務局、文部科学省、タイ地理情報・宇宙技術開発機関（GISTDA）
- テーマ：Envisioning Earth Intelligence Across Boundaries: Accelerating Impact in Asia-Oceania Region（境界を越えて地球インテリジェンスを構想する：アジア・オセアニア地域におけるインパクトの加速）



主なプログラム

10月15日（水）	10月16日（木）	10月17日（金）
• 開会挨拶 • 基調講演 • 参加国からのGEO関連活動報告 • 特別セッション①：食料安全保障のための地球インテリジェンス：持続可能な稲作農業のエコシステム • 分科会セッション①	• 分科会セッション② • 分科会セッション③	• 分科会活動報告 • ポスターセッション • 特別セッション②：強靱な未来のための地球インテリジェンス：アジア・オセアニア地域の新たな脅威への理解と対応 • 宣誓文採択 • 閉会挨拶
ポスター展示		